

Sky Seminar

関西学院大学 スカイセミナー

学内での講義内容を分かりやすくアレンジしたものです。



21世紀における最重要課題は環境問題といわれています。環境問題の解決に向けてとりわけ大きな役割を担っているのは企業です。環境対策には多額の投資が必要です。しかし現行の会計では企業が環境対策に投資をすればするほど、企業の利益が減少することになってしまいます。そこで環境投資が将来の企業経営に貢献している実態を把握しようとするのが環境会計なのです。環境会計は、企業が環境対策に使うコストとその効果を、経済性と環境保全の観点から示す新しい手法であり、従来の会計の枠組みにとられない新たな領域として注目されています。

例えば、IBMでは、化学物質の地下タンクを地上に移設し、防液堤を設置することによって、化学物質の漏洩による環境汚染を未然に防ぐための対策を行いました。この対策には多額の投資が必要でしたが、それをしなれば土壌汚染

環境会計学

約300社が発行している環境報告書



企業の存亡にかかわる 環境対策 そのコストと効果を 把握する新会計

発生し、もつと多額の支出が汚染浄化のために要になっていくはず。このような環境対策もて免れた支出分をリスク回避効果としてすることで、環境投資の効果をわかりやすく表すことができます。この結果全世界のIBMグループで算出した1999年度の環境会計では、環境対策関連費用が117.8億円、その効果である節約額と費用回避が208.6億円となり、環境対策は支出を大きく上る見返りがあることが示されました。

このような環境会計は、効率的な環境対策の進め方や事業戦略における環境対策の位置づけを明確化に役立てることができそうです。そしてそれ

来べき循環型社会を見据えた環境経営の歩となるのです。

環境会計は、わが国でもすでに160社を超える企業が公表しています。「環境会計元年」とよばれた1999年からわずか1年あまりの間にこれだけ

多くの企業に広がりを見せた環境会計の進展にはめざましいものがあります。環境会計情報の多くは、企業が発行する環境報告書の中で公表されており、誰でも入手して見ることが出来ます。また、近い将来には、企業が直面しているリスクを環境負債として財務諸表に計上したり、土地の汚染による資産価値の減少を明らかにさせることも求められるでしょう。国連を初めとする国際機関も環境会計の研究と普及に力を注いでおり、環境会計基準の作成も視野に入れた取り組みを行っています。

私は最近ハウスデンボスで環境会計導入のためのお手伝いを始めました。ヘトロを埋めた工業団地予定地の自然環境を蘇らせて建設されたこの街は、水・資源の循環や景観に配慮した未来型都市でもあります。財務諸表上では表れないこれら環境投資の効果を、環境会計を通して

積極的に評価し、広く理解してもらうことは、環境配慮型社会を構築していくにあたってとても大切なことだと考えています。長崎からの帰りの機上、環境会計の新たな可能性に想いをめぐらせつもふと思いました。今度は仕事抜きで来たいな、と。



阪 智香 (さか ちか)

関西学院大学商学部専任講師。
1970年大阪生まれ。博士(商学)。
研究テーマは、環境会計、財務会計。
経済産業省の環境会計委員会委員。
著書に「環境会計論」(東京経済情報出版、2001)がある。